

★ちば県議会だより

党派等別議員数		
党派等名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	49人
立憲民主・千葉民主の会	立千民	12人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
千翔会	千翔会	3人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	2人
平和の党	平和党	1人
千葉県民の声	県民声	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
北総ダッシュの会	北総ダ	1人
千葉新政会	新政会	1人
無所属議員	無所属	4人

定数94人 現員84人 (令和5年3月10日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043(223)2523 FAX 043(222)4073 千葉県議会 検索



2月定例会県議会の あらまし

2月定例会県議会は、2月8日に招集され、3月10日までの31日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和5年度一般会計予算等の議案85件、報告1件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

2月14日の質問初日には、議員発議による「千葉県不登校児童生徒の教育機会の確保を支援する条例」が上程され、提出者の趣旨説明が行われました。

2月14日から7日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、20名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、新型コロナウイルス感染症対応、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

さらに、2月27日から3日間にわたり、予算委員会が開催され、令和5年度予算議案について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、3月2日から4日間にわたり開催され、付託された議案・発議案・請願について、具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案および発議案については原案のとおり可決・承認されました。

その後、追加上程された人事案件1件が同意され、続いて、発議案17件(条例3件、意見書14件)のうち条例3件を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

代表質問

質問項目は、主な項目を掲載していません。その他の項目は千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 2月 検索

2月14日(火)



自民党
たきた としゆき
瀧田 敏幸 議員
(印西市・印旛郡栄町)

- 知事の政治姿勢
- 成田空港
- 県内経済の活性化
- 子育て支援
- カーボンニュートラルの推進
- 飲酒運転の根絶



立千民
おおかわ ただお
大川 忠夫 議員
(千葉市花見川区)

- 令和5年度当初予算
- 総務行政
- 多様性の尊重
- 防犯対策
- 子ども・子育て施策
- 教育問題

2月15日(水)



公明党
なかむら ひであき
仲村 秀明 議員
(船橋市)

- 子ども医療費の現物給付化
- リトルベビーハンドブック作成
- ヤングケアラー支援
- 水道事業体の非常用発電設備整備
- APIアランスケア助成制度
- 中小企業支援

「不登校児童生徒の教育機会の確保を支援する条例」を可決

2月定例会県議会において、議員提案による「千葉県不登校児童生徒の教育機会の確保を支援する条例」が全会一致で可決されました(令和5年4月1日施行)。

この条例は、国における教育機会確保法の制定後も小中学校の不登校児童生徒の増加傾向が続いていることから、不登校児童生徒の教育機会の確保に関し、基本理念を定め、県の責務や関係者の役割を明らかにするとともに、県の実施する施策について必要な事項を定めること、不登校児童生徒の状況に応じた施策を総合的に推進し、不登校児童生徒の将来における社会的自立に資することを目的としています。

条例では、

- 不登校児童生徒の主体性を尊重し、学校に登校できるようになることのみを目標としないことを基本理念で明らかにするとともに、施策を総合的に推進するため、県が「基本方針」を定めること。
- 施策を円滑に実施するための連絡および協議を行う「千葉県不登校児童生徒支援連絡協議会」を設置すること。
- 不登校児童生徒の教育機会の確保の重要性に係る県民の理解の促進のために必要な措置を講じること。

などを規定しています。

可決・承認・同意された議案・発議案

- ◆令和5年度予算関係(24件)
 - ▽一般会計
 - ▽特別会計(23件)
 - ◆令和4年度補正予算関係(24件)
 - ▽一般会計
 - ▽特別会計(23件)
- ◆条例の制定
 - ▽千葉県債権管理条例
 - ◆条例の一部改正(13件)
 - ▽職員の分限に関する条例
 - ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
 - ▽使用料及び手数料条例
- ◆可決・承認・同意された議案・発議案
 - ▽千葉県精神保健福祉センター設置管理条例及び千葉県行政組織条例
 - ▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等
 - ▽千葉県情報公開条例
 - ▽行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例及び住民基本台帳法に基づく本人確認情報の利用及び提供に関する条例
 - ▽千葉県生涯大学校設置管理条例
 - ▽ふぐの取扱い等に関する条例
 - ▽千葉県学校職員定数条例
 - ▽高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例
 - ▽千葉県工業用水道条例
 - ▽千葉県病院事業の設置等に関する条例
 - ◆条例の廃止
 - ▽千葉県袖ヶ浦福祉センターの設置及び管理に関する条例
 - ◆条例の整理
 - ▽博物館法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例
 - ◆その他(22件)
 - ▽契約の締結(5件)
 - ▽契約の変更(9件)
 - ▽損害賠償の額の決定及び和解
 - ◆議員提出
 - ▽条例の制定(2件)
 - ▽千葉県不登校児童生徒の教育機会の確保を支援する条例
 - ▽千葉県議会の保有する個人情報の保護に関する条例
 - ◆条例の一部改正(2件)
 - ▽千葉県議会委員会条例
 - ▽千葉県議会情報公開条例



代表質問から

知事 政治姿勢

知事は、本県における新たな産業・地域づくりをどのように進めていくのか。

答 成田空港のさらなる機能強化や広域的な幹線道路ネットワークの整備が進み、人や物の流れが一層大きくなるが見込まれていることから、この機を捉え、将来を見据えた産業や地域づくりに向けて、戦略的に取り組んでいかなければならないと考えている。

理解し、互いに認め合い、連携・協力していくことは、相互作用や相乗効果を生み出し、社会経済の活力、創造性を高めていくものと考えている。

こうした考えのもと、多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会の実現を図るため、全ての県民が理念を共有できる千葉県らしい新たな条例の制定を検討したいと考えている。多様性を尊重する意義を県政の各分野にしっかりと浸透させ、県民や事業者等と広く共有した上で、成田空港の機能強化や交通ネットワークの充実など、本県ならではの強みを最大限に生かして、多様な人々が活躍することにより、可能性に満ちた千葉県づくりを進めていく。

成田空港

さらに、我が国を代表する産業拠点である京葉臨海コンビナートの脱炭素化や、太平洋沿岸の沖合における洋上風力発電の導入、豊かな自然や独自の文化を活用した地域活性化など、本県ならではの特性や強みを生かした取り組みを積極果敢に推進することにより、県内各地域の発展を図り、新しい千葉の時代を切り開いていく。

知事は、多様性を尊重することの意義についてどう考え、多様性の尊重をどのように推進していくのか。

答 社会には、年齢や性別、国籍、障害の有無、性的指向・性自認、価値観や文化、ライフスタイルなどさまざまな違いが存在するが、多様性を尊重することの重要性を人々が

この方針に基づき、今後、農林水産省は、同法の土地利用調整に関して、成田空港周辺地域を対象とした全国初となる取り扱い通知を发出することとしている。こうした方針について、関係市町

子育て支援

児童相談所の喫緊の課題である人材の確保と育成にどのように取り組んでいくのか。

答 児童相談所の機能強化を図るには、人材確保と育成を着実に進めていくことが重要であるため、今後

の人材育成に関する方針として「人材発掘・キャリアアッププラン」の骨子を策定した。

骨子では、目指すべき姿として「子どもの最善の利益を実現すること」を改めて明示し、所長を含む全ての職位ごとに担うべき役割や、そのために必要な業務経験・研修内容を具体的に示した他、児童相談所以外の職場におけるキャリアパスについても幅広く検討を行うこととした。

県内経済

中小企業の現状を踏まえ、今後、県内経済の活性化にどのように取り組んでいくのか。

答 デジタル化の進展やカーボンニュートラルへの対応など、中小企業を取り巻く社会経済環境が大きく変化している中、県内経済の活性化のためには、中小企業が持続的に成長を続け、新たな産業や雇用を生み出していくことが必要である。

このため、令和5年度予算案においては、デジタル化やDXの実現に取り組む中小企業に対し、専門家派遣や実証実験への助成などによる支援を継続する他、新分野への参入や業態転換、生産性の向上といった事業再構築に取り組む中小企業に対する伴走支援をさらに充実させた。

また、新たに、革新的な技術やアイデアを持つベンチャー企業の成長を促す集中的な支援や、若い世代に向けた起業体験会の開催等を通じた起業を志す人材の育成などにより、起業・創業も促進していく。

この方針に基づき、今後、農林水産省は、同法の土地利用調整に関して、成田空港周辺地域を対象とした全国初となる取り扱い通知を发出することとしている。

こうした方針について、関係市町

等と協議した結果、共通の理解を得たところであり、今後、市町とともに同法に基づく基本計画を作成し、9市町を「成田新産業特別促進区域」と位置付けた上で、民間の事業動向を的確に捉えながら、空港ゲートやインターチェンジなどの周辺において物流拠点の形成を進めていく。

今後、成田空港周辺地域は、圏央道や北千葉道路など交通インフラの整備進展と相まって、地域の可能性が飛躍的に高まることから、我が国の国際競争力強化の観点からも、国際物流拠点をはじめとして、成田空港を核とする国際的な産業拠点の形成を目指していく。

この方針に基づき、今後、農林水産省は、同法の土地利用調整に関して、成田空港周辺地域を対象とした全国初となる取り扱い通知を发出することとしている。

令和5年度当初予算

令和5年度当初予算では、新規事業が多く見受けられるが、知事はどのような考えで予算を編成し、どう取り組んでいこうとしているのか。

答 令和5年度当初予算においては、54件の新規事業を計上したところであり、具体的には、

・本県経済を牽引していくことが期待される地域の調査

・キャリア教育やリカレント教育・保育の質の充実に向けた取り組みなど、経済の活性化や教育・子育て施策をはじめ、幅広い分野にわたって、新たな取り組みに着手することとしている。

これらの事業は、県の未来への投資につながるものと考えており、令和5年度にPDCAサイクルを回し、検証をしっかりと行っていく。

その上で、効果的な事業については、今後さらに予算を配分していきたいと考えている。

また、今後どう取り組むのか。

答 令和4年度から知事部局に移管した効果はどうか。

答 令和4年度から知事部局に移管した県立博物館および美術館では、観光事業者と連携したインバウンドメニューの検討や、道の駅での収蔵資料の展示、美術館とポトパークとの連絡通路の改修など、庁内関係部局間の連携をより一層深めながら取り組みを進めている。

また、令和5年度は、千葉県誕生150周年記念事業の一環として、中央博物館における海の文化の発信を通じた千葉のブランドづくりや、美術館におけるオランダ王国との文化交流事業など、引き続き、さまざまな分野における連携を図っていく。

さらに、中央博物館では、県内博物館の活動拠点としての機能強化を図るとともに、美術館では、高度な専門知識と豊富な経験を有する人材を館長に配置し、現代アートの拡充や本県の自然を生かした野外展示などの一層の活性化策を検討するなどにより、本県の文化的な魅力の向上に取り組んでいく。

また、今後どう取り組むのか。

答 行政サービスや庁内業務にデジタル技術を活用し、職員の生産性を向上させることで、県を取り巻く環境変化や課題に対し、より多くの対応が可能となるなど、質の高い行政サービスの提供に繋がるものと認識をしている。

そのため県では、これまで、デジタル技術を導入する前提となるペーパーレス化や業務プロセスの改善

・専門的な知識がなくてもソフトウエアが作れるローコード開発ツールの活用

など、業務効率化等に取り組むとともに、行政手続のオンライン化をはじめ、県民の利便性向上に向けた取り組みを進めている。

今後、こうした取り組みを継続しながら、令和5年度は、電子契約を試行していくとともに、新たにアドバイザーを設置し、業務プロセスの改善をより一層進めるなど、各種取り組みを充実させることで、引き続き全庁を挙げて県民サービスの向上に努めていく。

また、今後どう取り組むのか。

答 令和4年度から知事部局に移管した効果はどうか。

答 令和4年度から知事部局に移管した県立博物館および美術館では、観光事業者と連携したインバウンドメニューの検討や、道の駅での収蔵資料の展示、美術館とポトパークとの連絡通路の改修など、庁内関係部局間の連携をより一層深めながら取り組みを進めている。

また、令和5年度は、千葉県誕生150周年記念事業の一環として、中央博物館における海の文化の発信を通じた千葉のブランドづくりや、美術館におけるオランダ王国との文化交流事業など、引き続き、さまざまな分野における連携を図っていく。

さらに、中央博物館では、県内博物館の活動拠点としての機能強化を図るとともに、美術館では、高度な専門知識と豊富な経験を有する人材を館長に配置し、現代アートの拡充や本県の自然を生かした野外展示などの一層の活性化策を検討するなどにより、本県の文化的な魅力の向上に取り組んでいく。

また、今後どう取り組むのか。

答 行政サービスや庁内業務にデジタル技術を活用し、職員の生産性を向上させることで、県を取り巻く環境変化や課題に対し、より多くの対応が可能となるなど、質の高い行政サービスの提供に繋がるものと認識をしている。

そのため県では、これまで、デジタル技術を導入する前提となるペーパーレス化や業務プロセスの改善

また、今後どう取り組むのか。

答 行政サービスや庁内業務にデジタル技術を活用し、職員の生産性を向上させることで、県を取り巻く環境変化や課題に対し、より多くの対応が可能となるなど、質の高い行政サービスの提供に繋がるものと認識をしている。

そのため県では、これまで、デジタル技術を導入する前提となるペーパーレス化や業務プロセスの改善

また、今後どう取り組むのか。

答 行政サービスや庁内業務にデジタル技術を活用し、職員の生産性を向上させることで、県を取り巻く環境変化や課題に対し、より多くの対応が可能となるなど、質の高い行政サービスの提供に繋がるものと認識をしている。



総務防災常任委員会

問 県の有する債権は、回収すべきものであるにもかかわらず、条例に定め、放棄することとした理由は何か。

答 徴収が見込めない債権は、速やかに放棄を行い、他の債権回収に注力することが、適正な債権管理に資すると考えられるため、条例で要件を定め、債権放棄をすることとした。

総合企画企業常任委員会

問 鉄道駅ホームドアの整備促進に向けて、県はどのように取り組んでいくのか。

答 新たな料金制度が創設され、鉄道事業者は、バリアフリー設備の整備費用を運賃に上乗せして徴収できるようになった。

健康福祉常任委員会

問 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられることに伴い、一部の医療機関で診療に関し、不安があるとのことだが、どのような支援をしているのか。

答 県では、これまでも診療時にインフルエンザ流行時に準じた対応が可能である旨の周知も含めた研修等を行ってきた。

環境生活警察常任委員会

問 新たに始める「市町村防犯アドバイザー設置事業」とはどのような事業か。

答 地域の防犯力を一層強化するため、市町村が警察官OBなどを「防犯アドバイザー」として配置し、防犯活動への助言や住民への講話などを行う場合、その人件費を助成するものである。

農工商労働常任委員会

問 立地企業補助金について、来年度からスタートする賃借型の制度は、具体的にどのような制度なのか。

答 昨今の企業の立地ニーズを踏まえ、県内に新たに本社または研究所を立地する企業などを対象に、建物賃借料の2分の1を1年間にわたり補助するものである。

農林水産常任委員会

問 さつまいもに重点を置き、支援することとした理由は何か。

答 さつまいもは、全国的に供給不足であり、農家の生産意欲が高まっていることから、重点的に支援することとした。

県土整備常任委員会

問 通学路の安全対策について、対策すべき実施箇所数に対する進捗状況はどうか。

答 県が管理する道路の対策数は709カ所あり、現在、629カ所が完了した。残る80カ所については、用地買収や設計等を伴うものであり、引き続き、事業を進めていく。

文教常任委員会

問 特別支援学校教育用コンピュータ整備事業について、概要はどうか。

答 教育用コンピュータや情報通信環境の整備を行い、学習活動におけるICTの積極的な活用を推進していく。

児童生徒表彰

千葉県議会では、学芸およびスポーツの国際大会または全国大会で最優秀の成績を取めた千葉県内の学校に在籍する児童並びに生徒を表彰しております。

令和4年度 千葉県議会 児童・生徒表彰受賞者(学芸部門)

Table with 3 columns: 学校(団体)名, 氏名, 備考. Lists award recipients in the Arts and Sports categories.

令和4年度 千葉県議会 児童・生徒表彰受賞者(スポーツ部門)

Table with 3 columns: 学校(団体)名, 氏名, 備考. Lists award recipients in the Sports category.

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 2月 検索

2月15日(水)



自民党 小路 正和 議員 (いすみ市)

- 水産業
- 有害鳥獣対策
- フェーズフリーの推進
- 自然環境に優しい護岸



自民党 秋本 享志 議員 (白井市)

- 一般廃棄物処理施設整備等の計画
- 地域計画(基盤強化法)の策定支援
- 自転車活用社会の構築に向けた取組
- 白井市における課題

2月16日(木)



公明党 藤井 弘之 議員 (松戸市)

- 災害痕跡データベースについて
- 肺炎球菌ワクチン接種
- 児童相談所の負担軽減
- 高校生の文化芸術活動



自民党 宮坂 奈緒 議員 (浦安市)

- 防災
- 医療的ケア児
- 浦安市内における保健所機能設置
- 特別支援学校の新設



立千民 平田 悦子 議員 (君津市)

- 君津市以南の君津・安房地域の活性化
- 有害鳥獣対策に関わる取組
- 子どもの巻き込まれる犯罪対策
- 旧上総高校・特別支援新設校

2月17日(金)



無所属 市原 淳 議員 (茂原市)

- 地域の活性化
- 田んぼダムの取組
- 県立高校の医療系コースの設置
- 障害者就労施設の工賃



北総ダ 岩波 初美 議員 (鎌ヶ谷市)

- 児童相談所の運営改善
- 北千葉道路



共産党 加藤 英雄 議員 (柏市)

- 大軍拡路線と敵基地攻撃能力の保有
- 2023年度一般会計当初予算案の組替え
- 地域医療構想
- 教員未配置の解消

2月20日(月)



自民党 川名 康介 議員 (鴨川市・南房総市・安房郡)

- 安房地域の振興への取組
- 地すべり・防潮堤等の防災対策
- 通学路の安全対策
- 鴨川の特別支援学校



自民党 茂呂 剛 議員 (八千代市)

- 自転車道の活用・整備
- 県立八千代広域公園
- 教育
- 治安対策



自民党 宮川 太 議員 (銚子市・香取郡東庄町)

- キャッシュレス決済の導入
- ちばコラボ大賞
- 道路問題
- 交通安全対策



自民党 小池 正昭 議員 (成田市)

- 成田空港
- 教育行政
- 農林水産業の振興
- 道路行政



自民党 高橋 秀典 議員 (旭市)

- 九十九里地域における広域連携
- 漁港を活用した海業の推進
- 地域文化の継承支援
- 県管理道路の雑草対策



自民党 實川 隆 議員 (山武市・山武郡)

- 成田空港
- 農業問題
- 道路問題
- 河川問題

2月22日(水)



自民党 吉本 充 議員 (富津市)

- 学校及び保育所における感染症対策
- 富津公園の民活による再整備
- 大災害への防災・減災対策
- 富津市内の河川や道路の整備



立千民 天野 行雄 議員 (千葉市稲毛区)

- カーボンニュートラルへの対応
- 利根川下流域における治水対策
- アクアラインの渋滞対策



自民党 鈴木 昌俊 議員 (市原市)

- 都市計画
- 防災政策
- 道路行政
- 土木技術者の育成

千葉県議会公式 ツイッター・フェイスブック

県議会の情報を随時配信していますので、ちば議会だよりと合わせて、ぜひご覧ください。

【ツイッター】 <https://twitter.com/chibakengikai>

【フェイスブック】 <https://www.facebook.com/chibakengikai>



2月定例県議会 知事あいさつ

このたび提案致しました案件は、令和5年度当初予算案、令和4年度2月補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の85議案の他、報告1件です。

◎令和5年度当初予算案他

はじめに令和5年度当初予算案について、申し上げます。令和5年度当初予算は、総合計画の目標年度である6年度に向けて、危機管理や安全確保にしっかり取り組みながら、将来の千葉県の発展につなげていくための予算としました。

具体的には、産業拠点や道路ネットワークの整備などによる県内経済の活性化、学校給食の無償化や保育の質の充実などの子育て・教育施策の推進、150周年記念事業などを通じた地域づくりや千葉ブランドの確立をはじめ、各分野にわたり総合計画に掲げた施策を確実に実施してまいります。

さらに、令和4年度2月補正予算と一体的に編成することで、これらの取り組みを切れ目なく進めてまいります。

この結果、一般会計の予算規模は、2兆1,971億2,500万円となりました。

この他、当初予算案に計上した主な事業として「危機管理体制の構築と安全の確保」、「千葉経済圏の確立と社会資本の整備」などの概要説明がありました。

さらに、令和4年度2月補正予算案に計上した事業等について概要説明がありました。

◎新型コロナウイルス感染症

昨日時点の新規感染者数は、直近7日間平均1,596人、前週比0.66となっており、今月6日をもってレベル2の「感染拡大初期」へ、病床確保のフェーズについては2Bに



移行したところ です。

こうした中、国において、新型コロナウイルス感染症の法令上の位置付けを、5月8日以降、新型インフルエンザ等感染症から5類感染症へ移行するとの見解が示されました。

これに伴い、医療費の公費負担や医療提供体制などについては段階的に移行することとされ、その具体的な方針は、3月上旬をめどに示すとされています。

県としましては、国の見直しにより、医療・介護や教育などの現場において混乱が生じることのないよう、必要な支援を行うなど適切に対応してまいります。

この他、高病原性鳥インフルエンザ、成田空港周辺における土地利用規制の弾力化など、当面する諸問題について報告がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧いただけます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索

『千葉県議会史』第11巻を刊行しました

第11巻は、平成7年から15年までの世の中の動きを叙述した「通史」と県議会での主な質疑を採録した「議事概要」などで構成しています。

千葉県議会図書室や県内公立図書館などで閲覧できます。(販売はしていません)



予算委員会が開催されました



2月27日(月)、28日(火)、3月1日(水)の3日間にわたり予算委員会が開催されました。

本委員会では、令和5年度予算議案について、横断的・多角的に審査が行われ、活発な議論が展開されました。